

個別相談のご案内

コロナ感染拡大をきっかけにしたテレワークの普及により、ネットを介したギャンブルやゲーム課金にかかわる相談が増えています。ワンデーポートでは、ギャンブルに加えてゲーム課金などにのめり込む方やご家族の相談をお受けしています。

私たちは、依存行動だけに着目するのではなく、個々の方の生活課題に即した対応が問題解決には欠かせないと考えています。

基本的には1回限りの相談会ですが、ご希望の方には継続して相談に応じています。

本人相談

日時 平日 10時～15時30分

相談員 中村 努（ワンデーポート施設長）

料金 無料

予約 概ね10日前から前日まで
（対応できない日もあります。電話でご確認ください）

☎ **045-303-2621**

（予約時にこれまでの経緯を簡単にお聞きます）

家族相談

日時 毎週金曜日 10時30分～/13時30分～/15時30分～
（1組の相談時間は1時間半を目安にしています）

相談員 [第1金曜日] 稲村 厚（司法書士）
[第2～第5金曜日] 高澤 和彦（精神保健福祉士）

料金 無料

予約 相談日の1ヶ月前から
（予約時にこれまでの経緯を簡単にお聞きます）

☎ **045-303-2621**

その他 ご両親ときょうだいなど複数人で相談をお受けすることはできますが、問題を抱えるご本人が同席することはできません。

共催 NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク

このプロジェクトに携わる専門家チーム・団体

〈専門家チーム〉

- 朝倉 新 [児童精神科医・新泉こころのクリニック]
- 今井 忠 [東京都自閉症協会・理事長]
- 稲村 厚 [司法書士・稲村厚司法書士事務所]
- 岩崎 眞弓 [社会保険労務士・岩崎社会保険労務士事務所]
- 植松 育子 [司法書士・うえまつ司法書士事務所]
- 小野寺正夫 [住まいのサポーター・有限会社第一産業]
- 高澤 和彦 [精神保健福祉士・浦和まはろ相談室]
- 高橋 洋平 [弁護士・高橋洋平法律事務所]
- 早坂 毅 [税理士・早坂毅税理士事務所]

〈団体〉

- 認定NPO法人リカバリーサポート・ネットワーク
- 依存の問題の支援に携わる人たちの勉強会

ギャンブルの問題は個別性があるため、それぞれに向き合い方があります。個別のニーズに柔軟に対応するために、制約の多い公的補助を受けないで活動しています。ワンデーポートは2000年の開設以来、パチンコ業界や個人の皆様からのご支援で運営されています。



認定NPO法人 ワンデーポート

〒246-0013 横浜市瀬谷区相沢4-10-1 クボタハイツ101



TEL **045-303-2621**

FAX **045-303-2629**

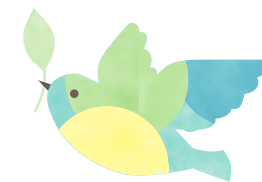
HP **ワンデーポート** 検索
<http://www.5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/>

E-mail oneday.yokohama@knd.biglobe.ne.jp



POSC
一般社団法人
パチンコ・パチスロ社会貢献機構

ギャンブルやゲームに関する 生活課題への向きあい方を 一緒に考えます



※このパンフレットに記載されている料金は2021年4月1日～2022年3月31日までの適用となります。



相談料無料
（電話相談随時）

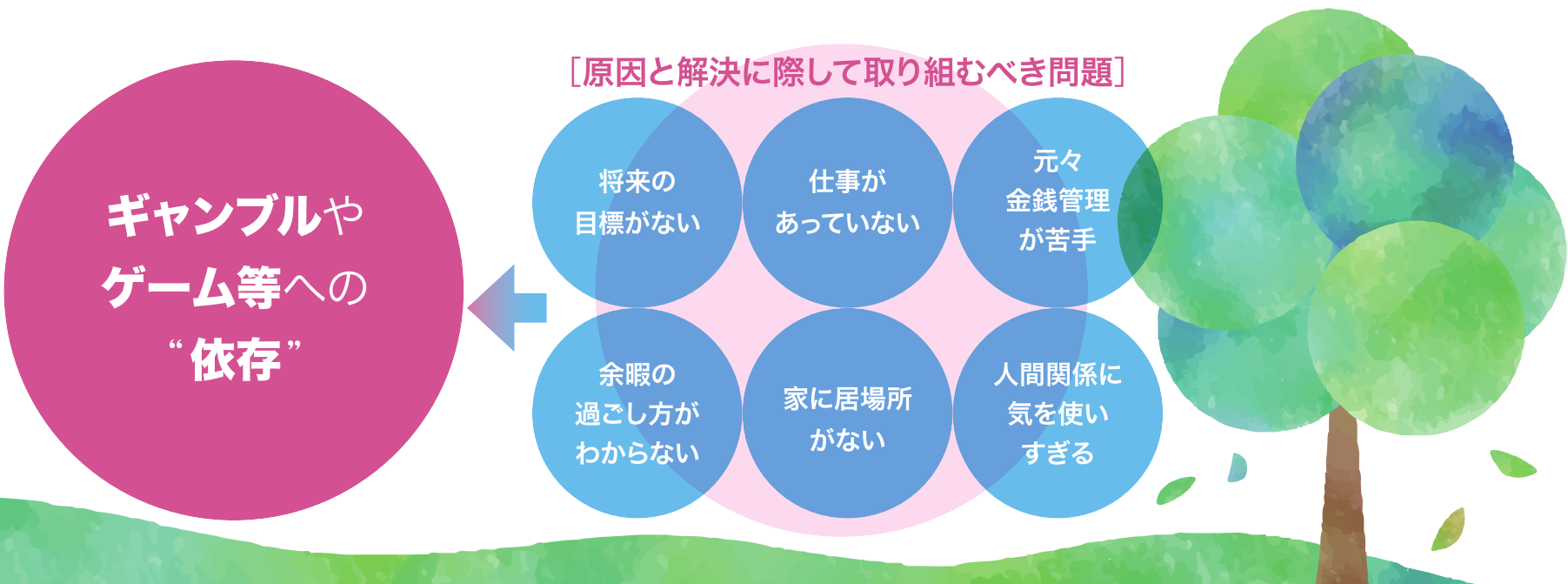
☎ **045-303-2621**

お気軽にご相談ください

本人相談随時 | 家族対面相談は金曜日のみ

ギャンブルやゲームへの“のめり込み”には「原因」や「背景」があります。

表面的に起きている問題はのめり込みに起因しているようにみえても、その背景には個別的な問題を抱えています。ギャンブル依存症やゲーム依存症を「病気である」と考えるのではなく、それぞれの背景に起因している問題に直接向き合うことが重要です。



CASE 1 酒井さん(25歳)の場合

サポートC利用

酒井さんは社会人になって、スマホアプリで競馬やポートレースをやるようになりました。仕事にも賭けるようになり、24歳のとき借金200万円が発覚しました。両親が立て替え、精神科を受診しましたが、生活は改善しませんでした。1年後、250万円の借金が発覚しました。酒井さんの両親は、生活全体を見つめ直す目的でワンダーポートに入所を勧めました。酒井さんは渋々入所しましたが、ボランティアなど様々な経験の中で、新しい目標が見つかり、ギャンブルとは距離を置くことができるようになりました。

CASE 2 川崎さん(35歳)の場合

サポートB利用

単身生活の川崎さんは、離職して生活保護を受給していました。保護費をパチンコで使ってしまうことから、生活保護の担当者からワンダーポートに訪ねました。話を聞くと、金銭管理は元々苦手であるということがわかりました。また、過去に失踪を繰り返していることがわかりました。ワンダーポートでは能力や特性の見極めるために、入所ではなく発達検査や金銭管理を含めた個別な支援が必要であることを伝えました。まだ支援ははじまったばかりですが、川崎さんの希望を聞きながら、できることをお手伝いしたいと考えています。

CASE 3 西城さん(22歳)の場合

サポートC サポートD 利用

西城さんは子どもの頃から勉強やお金の使い方が苦手でした。働くようになったら、パチンコにのめり込むようになり、生活が破たんしました。家族の勧めでワンダーポートに入所していましたが、ワンダーポートの見立ては軽度の知的障害の疑いでした。家族、ご本人の希望を確認し愛の手帳(療育手帳)の取得や、障害者グループホームに入居のお手伝いをしました。その後、仕事は障害者雇用で採用され安定した生活を送るようになりました。パチンコをたまにやることありますが、生活が安定したことで、問題になることなく遊んでいるようです。

CASE 4 本間さん(40歳)の場合

サポートA利用

対人関係が苦手な本間さんは仕事のストレスでゲームをすることが日課になっていました。次第に課金して遊ぶようになり、妻に内緒で借金をつくってしまいました。借金が払えなくなり発覚し、妻はワンダーポートの個別相談を受けました。仕事のストレスとの関連が大きいのではないかとこの見立てを伝えました。妻もAさんも納得してストレスのない仕事に転職をしました。ゲームはやめていませんが、課金をしないで遊ぶようになりました。借金についてはワンダーポートの司法書士が介入し、債務整理をすることで解決しました。

ワンダーポートが提供しているメニュー

サポートA 面談による見立てとアドバイス

家族相談、本人相談を通して、ご本人の問題を整理しその人にあった解決方法をご提示いたします。



▶無料

サポートB 通所を通しての見立てとアドバイス

ご本人のニーズに沿った通所により、その人にあった解決策をご提示いたします。ご要望があれば、心理検査を目的とした精神科クリニックへの同行や、生活全般の相談に応じます。



▶1年以内無料

サポートC 入所による見立てと生活の立て直し

1ヶ月～2年程度の入所により、人生をリセットして再出発するお手伝いをします。寮費、食事代等で13万円程度。生活保護の方には保護費内で対応いたします。



サポートD 金銭管理など継続支援

サポートA～Cの後、必要な支援(金銭管理や生活相談)を継続いたします。



▶月額/3,300～11,000円

出張相談やセミナー開催などにも応じていますのでお気軽にご相談ください

プロジェクト責任者/中村 努(ワンダーポート施設長)

※このパンフレットに記載されている料金は2021年4月1日～2022年3月31日までの適用となります